

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年12月17日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	盛岡市	代表者名	谷藤裕明
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	019-626-7514
担当者役職	主査	担当者氏名	八重樫知久
		連絡先E-mail	
住所	020-8530 岩手県盛岡市内丸12-2		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	計画どおりにオンラインによる研修を実施することができ、また、その内容も分かりやすく丁寧で、職員が必要な知識をお伝えいただけただけのため。受講者83人のアンケートでは、講義内容の理解度が5段階評価で平均が3.75、講義後に、オープンデータ推進の必要性について意識が向上したかについて「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」が100%となり、職員の意識向上に大きく寄与いただいた。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年12月10日	10時00分	11時50分		110
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	83人

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実績に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	本市は、平成30(2018)年9月に「盛岡市オープンデータサイト」を開設し、令和3(2021)年5月時点で35種類のオープンデータを公開しているが、DXの実現に当たって、市の保有する行政情報のデジタル化を行い、公開するデータの種類をさらに増やしたい。政策立案に客観的データを活用するEBPMを念頭においた、より活用しやすい形式での公開などを進めたい。と考えているが、データ作成や調整を行う事業原課にその認識が広がっていない。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	有識者からオープンデータ推進に係る社会的背景や他自治体の事例、最新動向を学び、受講者それぞれが業務の念頭に置いてオープンデータ化を推進できること。
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	事前に講義を収録いただいた動画を提供いただき、オンライン形式で講義を実施した。オープンデータ推進の社会的背景といった基礎知識や、他市の活用事例、事前に参加者から出された質問に対し回答いただくといった構成で講義いただいた。具体的には、オープンデータの必要性について、社会背景などから「公共財」であることなど、そもそものところを説明いただき、納得できた。オープンデータは、機械判読性の高いデータを作成する必要があるという原則を学ぶことができた。BIツールを活用するなど、データ活用の高度な市民参加型の取組を実施していた黒部市の事例などが参考になった。行政のオープンデータと、それを活用する企業とのマッチングの進め方などでは、まずは具体的に企業に呼び掛けるなどして活用事例を増やしていくことが効果があったといったアドバイスが良かった。リスクとメリットの観点も大事だということは説得力があった。
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	期待どおりの研修内容により、職員はオープンデータ推進に係る最新動向を学び、受講者それぞれの立場から業務の念頭に置いて推進できる意識付けをすることができた。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 受講者83人のアンケートによると、講義内容の理解度が5段階評価で平均が3.75、講義後に、オープンデータ推進の必要性について意識が向上したかについて「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」が100%となり、職員の意識が向上した。

5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
------------	----------------------	-------------------

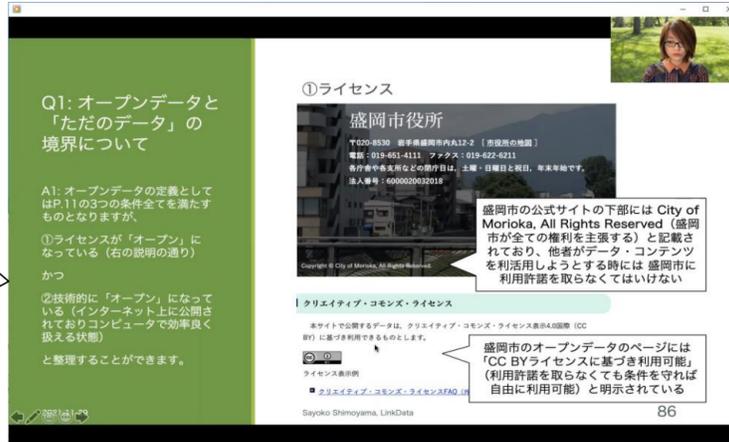
事業の最終的な目指す姿	本市が保有するデータを二次利用可能なデータとして公開することで、民間企業等によるサービスの創出や地域課題の解決に役立てられている。職員が積極的なデータの公開に取り組み、オープンデータを推進している。EBPMの考え方も意識し、データを使う側のマインドも醸成されていること。
-------------	---

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



受講希望職員から、事前に募集した質問にも丁寧に答えていただき、とても有意義だった。



盛岡市のオープンデータのページには「CC BYライセンスに基づき利用可能」（利用許諾を取らなくても条件を守れば自由に利用可能）と明示されている



他市の事例なども多く紹介してもらえた

業務中の都合の良い時間に合わせて聴講できるというメリットが大きかった。

